

地域産業支援委員会第2回例会議事録

2015/9/14 発行 地域産業支援委員会 委員長 末松正典

1. 日時：2015/9/5（土）14:30～17:10

2. 場所：九州本部 会議室

3. 出欠（敬称略）：赤石、味澤、大里、小出、古賀、末松
【出席者、欠席者】中村、西尾、松原、森川、八百屋、山田、吉田
[オブザーバー出席：長野副本部長]（欠席委員からは決議一任を頂いています）

4. 予定議題

1) 各グループのこれまでの活動状況報告：事前配布資料類は以下。

- ★第1Gr：資料①-1；H27年度計画と組織体制、資料①-2：H27年度地域産業支援委員会活動経過
- ★第2Gr：資料②-1：H27年度第二回中間報告、資料②-2：九州本部調査表1、
資料②-3：調査結果一覧表（学協会）、資料②-4：技術相談HP変更案、
資料②-5：データベース登録者紹介改訂版 資料②-6；セミナー等九州本部事務局文書管理簿抜粋、
資料②-7：第2G進捗状況表 H27年8月末時点
- ★第3Gr：資料③-1：九州大学との挨拶・打合せメモ、資料③-2：福岡大学との連携についての打合せメモ、
資料③-3：KRIPとの連携（依頼対応）、
資料③-4：平成27年度特許取得活用支援事業の関係機関連携会議出席議事録
- ★第4Gr：資料④-1：産総研九州センター訪問メモ、資料④-2：産総研主催展示会新規参加企画提案書
- ★第5Gr：資料⑤-1：Gr5のH27年度第二回中間報告

2) 今後の活動予定について

- (1) 技術相談に関して（2Gr）：①ホームページリニューアルの実施、②技術相談実務の開始
- (2) 外部機関との連携強化に関して（3Gr）；予定8機関のうち、未訪問の5機関への訪問の具体化
- (3) 産総研主催九州・沖縄産業技術オープンデー出展対応（4Gr）；
ミニプレゼンテーションと、各種相談会への準備

5. 議題に対する結果（決定事項など）：

1) 各グループのこれまでの活動状況報告、及び今後の活動予定について

(1) 第1グループ：【文責：吉田、末松】

【これまでの活動状況】

★H26年度までの活動でまとまった活動方針・実行体制（5つの小委員会：資料①-1）に基づき、H27年度は実行に力を注ぐ。

- 1. 会則のレビューとH27年度計画・実行
- 2. 九州本部「技術相談」窓口としての機能整備・運用開始
- 3. 外部機関（産学官）との連携強化
- 4. 地域産業支援事例調査・対応案の抽出
- 5. 地域産業支援能力向上のための研究と講習の実施

各委員は少なくとも最低1つの小委員会に所属し活動する。以上を再確認した。

【今後の活動予定】

★5つのグループへの各委員参画の件：

5つのグループは、リーダーとサブリーダーを中心に活動しているが、“委員は少なくとも1つのグループに属して活動するものとする”となっている。したがって、いずれのグループにも属していない各委員に対し、参画希望するグループ名を委員長から問い合わせする（参加希望のグループに偏りがある場合は、委員長中心に調整を行うものとする）。

★今後の例会開催日：

- ・第3回例会：12/5（土）10:00-12:00 会議室予約済み（年末CPD・忘年会(13:00-17:00)の前に行う）
- ・第4回例会：2016/3/26（土） 時間未定だが午後を考えたい。

(2) 第2グループ：【文責：味澤、吉田】

【これまでの活動状況】

★「資料②-1」及び「資料②-7」を主資料として説明、以下に抜粋事項。

①「調査結果一覧表(学協会)」「資料②-3」は、近々更新される『HP「技術の相談」』が実施に移されそれを見直す際、又、地域産業支援委員会活動をより有効にする為の「一参考資料」と成ると思う。

②「九州本部事務局文書管理簿抜粋(セミナー等)」「資料②-6」は、今迄技術士会の地域産業支援活動として外部にどの様な展開をして来たのか、及び技術士会の「技術の相談」窓口を認知してもらう為に、どの様なフェア等展開の場があるのか等を探る為に、事務局文書管理簿を主に調査した。

i) 事務局管理簿には後援依頼に対する承諾文はあるが、その事業がどんなものであるかを示す受信資料の多くが残っていない。従って、後援依頼のみでは無く技術士会として出展等を可能とする事業であるかどうか不明である。

ii) 集計資料の中で、出展出来そうな事業も散見されるので、今後「受発信一式(外部機関事業)」でファイリングされる様、事務局(事務員)には御願した。

iii) 出展状況では、いくつかの単発事業での出展実績があるが全体として少ない。

iv) 一方、毎年定期的に案内が来る事業があり、その中では産総研産業技術オープンデーへの出展は有効であり、末松委員長の積極的な働きにより甲斐本部長の了解を得、出展の運びと成った事は今後の一指針と成ると思う。

v) 今回の本件での解決すべき課題:

ア) 事業への出展可否のルール作り。今迄も本部長・副本部長・事務局で適正に判断され出展の可否を判断されて来たと思われるが、例えば「本部長・副本部長が、当該事業について関係する委員会委員長・部会長に打診し、最終的に本部長決心」等々。

イ) 当面、「受発信資料」は一式ファイリングするとして、最終的にPDF等でサーバーに保管する形とするかどうか、又誰がやるか。

③『HP「技術の相談」』の整備と「技術士DB」登録状況等:【文責:吉田】

・HPの技術相談は12月に技術士DB登録者を募集し、20数名の登録者があったがHPに掲載可能な19名の登録を「技術士会九州本部地域産業支援アドバイザー」としてHPに掲載する。

・写真は時間経過等の問題もあり掲載しないこととした。

・掲載の並びは1次産業から2次・・・になるようにした。

・連絡先として吉田メールアドレスを追加した。

・HP改訂原案を【例会2-資料②-4_技術相談HP変更案】として提示し議論した結果、スマホでも見易いように、分かり易くするべきだとの意見が寄せられ再編集をすることになった。

【今後の活動予定】

①HP「技術の相談」案の資料②-4について、再編集を行う。

再編集した案の了解が得られた後に、九州本部事務局長と交渉・調整してHPの更新を行う。

②「企業内技術士」の支援事業への参画の在り方(意向)を探る調査を、H28年度に向けて検討したい。

③今回、HPへの添付は不要と成った「支援実施例集」を、今迄の委員会等で得られた資料を基に作成してみたい(「内部資料」として)。

(3) 第3グループ:【文責:古賀】

【これまでの活動状況】

★産学官訪問予定の8機関のうち3機関(九大、福大、産総研)は訪問実施。

九 大:7月2日に九州大学学術・産学官連携本部大歯アドバイザー、有嶋コーディネーターと挨拶・打合せ。技術相談について技術士会との連携は可能であり、正式の内部手続きは技術士会の技術者リストができてからにしたい、ということとなった。

福 大:7月23日に福大産学官連携センター大田コーディネーターと打合せ。技術相談は北九州の資源循環・環境制御システム研究所、大牟田の産学官連携推進室が多く、福岡はシーズの売り込みが多い。しかし、連携は前向きに考えていきたい、ということとなった。

産総研:8月11日に産総研九州センター前田主幹と打合せ。12月2日産業技術オープンデーに参加させていただくこととなった。

★その他産学官連携の一環として二月会参加、九経局関連会議(2件)に参加。

7月15日には知財総合支援窓口(パテントエントランス福岡)第1回関係機関連携会議にオブザーバーとして参加。パテントエントランス福岡の活動実績・予定と各支援機関からの協力要請について。

8月24日には九経局環境対策課松枝課長補佐、K-RIP 杉迫マネージャーと打合せ。リサイクル加工資材販売ルートに関する内容であったが、後日吉田副委員長が対応することとなった。

【今後の活動予定】

- ★ 九大：技術者リスト完成後、正式に相互協力申込み（末松、古賀）
福岡県工業技術センター：技術相談リニューアル後に訪問予定（末松、古賀）
九州経済産業局：まず特許室長を訪問予定（末松、吉田）
福岡県中小機構振興センター：末松、吉田、味澤で訪問予定（吉田：訪問日時調整）
中小機構：末松、吉田、味澤で訪問予定（吉田：訪問日時調整）
九州農政局：小出、古賀で訪問予定

(4) 第4グループ：【文責：末松（リーダー、サブリーダー共欠席のため代筆）】

【これまでの活動状況】

- ★平成27年度「九州・沖縄産業技術オープンデー」に対する後援名義貸しに加え、展示出展交渉の件：
・後援名義貸し了解については事務局から甲斐本部長名で産総研に送付済みである。技術士会として展示出展を交渉するため、8/11に産総研を訪問した結果、産総研から出展、及びミニプレゼンテーションを実施することの了承を得た。

【今後の活動予定】

- ★「九州・沖縄産業技術オープンデー」実行タスクチーム編成と実活動
・当会でのタスクチームメンバは希望を含み6名とした（味澤、古賀、○（リーダー）末松、松原、山田、吉田）。
・ものづくり部会と連携・協業した対応が適切と考え、ものづくり部会長（服部部会長）には、協力要請をしている。今後必要な具体的取組み（①2枚のパネル原案の作成、②ミニプレゼンテーションの内容確定、③展示当日の相談対応者の決定 など）について、末松が調整する。

(5) 第5グループ：【文責：末松】

【これまでの活動状況】

- ★統括本部主催講習会のWeb会議利用：2015年度のWeb中継は希望がないこともあり未実施。
- ★地域産業支援能力向上のための手法研究：8月までの活動なし。

【今後の活動予定】

- ★統括本部主催講習会のWeb会議利用：
統括本部の機械部会から、葺手ビルで行っている機械部会の例会（金曜例会は、18:30～20:30）について、10/9（金）から、「ものづくり部会」と連携して、Web中継に対する受講希望者を募集する。
- ★地域産業支援能力向上のための手法研究
九州本体内での経験者による事例発表と議論を行うことで、よりスキルアップが図れると考えられるので、技術指導経験者による事例紹介を開始する。受講対象者は当面当会のメンバ（13名）、開催日は当委員会の例会時を利用 [12/5（土）、2016.3/26（土）]、事例紹介及び討議の時間は30分ほど。
・第一回の12/5（土）は大里先生から話題提供いただく。

2) その他

★「意見・提言」として：

- ①大学と技術士会との関係を考えて、九大では日野伸一副学長を九州本部の顧問としてお迎えしており、他の大学に於いても過去にCPD等の講師としてお招きした先生方がおられる。従って、大学との連携に関しては、個々の大学のコーディネーターをバックアップして頂けるこれら先生方の存在を意識して活動すべきではないか。
- ②連携先との特に初回の挨拶等の際、窓口の方が、技術士会の姿を漠然とは理解していても、その具体的な活動・組織等を承知されていない状況が散見される。今後の連携先訪問時には、技術士会に関する冊子等を（吟味して）持参する様にしたらどうか。

以上